

## 第2回中国地方サステナブルファイナンス協議会 議事要旨

【日 時】 令和4年6月15日(水)15時30分～17時00分（オンライン会議）

【出席機関】 ひろぎんホールディングス、山口フィナンシャルグループ、鳥取銀行、山陰合同銀行、中国銀行、島根銀行、トマト銀行、西京銀行、日本政策金融公庫、日本政策投資銀行中国支店、商工中金広島支店、金融庁、中国経済産業局、中国四国地方環境事務所、中国経済連合会、日本銀行広島支店、中国財務局（事務局）

### 【議事内容】

1. 開会にあたり、中国財務局 CSO 柴田局長より挨拶。
2. 最新の内外政策動向や中国地方の現状について、出席機関（括弧内）より説明。
  - (1) 「加速する「地域脱炭素×地方創生」」（中国四国地方環境事務所）[資料1]
  - (2) 「カーボンニュートラル電力推進部会活動の紹介 ～ファイナンス関連の課題への対応～」  
（中国経済連合会中国地域カーボンニュートラル推進協議会カーボンニュートラル電力推進部会事務局）
  - (3) 「金融機関における気候変動への対応についての基本的な考え方（案）について」（金融庁）[資料2]
  - (4) 「事業者のサステナビリティ向上に向けた取組みについて」（株式会社ひろぎんホールディングス）

### 3. 意見交換等

主な意見交換の内容や各機関の課題認識等は、以下のとおり。

- 気候変動への対応で金融機関に求められる役割・観点については、主要行と地域金融機関とは内容的に少し異なるものと理解。例えば、主要行については、シナリオ分析等情報開示の妥当性、日本全体の産業構造をどうすべきかといった点等が中心になってくるが、地域金融機関においては、顧客企業をしっかりと支援していくことが重要となる。（金融庁）
- カーボンニュートラル（以下、「CN」）対応は、企業にとって経営上の守りの側面だけでなく、競争優位性の構築やビジネスチャンス拡大といった攻めの側面もあり、いち早く取り組むことは将来の成長のチャンスを高めることに繋がると認識。当社は、地元中小企業に対するCNに関する情報提供や対話により、CN対応の必要性をご理解いただけるようCN対応支援に注力している。具体的には、「Step1 現状把握」、「Step2 方針策定」、「Step3 実践」の順で対応方針等を整理し支援を行うとともに、企業のニーズや取組の進捗に応じた支援メニューの充実を図っている。（民間金融機関）
- サステナブルファイナンス目標の設定やTCFD開示といった取組のみならず、地に足がついた取組—顧客企業の現状把握や対応方針等の整理、顧客企業向け啓発ツールの樹立、営業現場と連携したニーズ喚起・啓発活動の実施—を行うことの必要性を改めて認識。（民間金融機関）

（以 上）